

静かに暮らす兄妹の物語 10年をかけたドキュメンタリー
2つがとけあい、映画は「大きな時」を刻み始める――。

大きな時

横田丈実監督作品

出演／早川友子

杉山寿弥

亀岡寿行

前畑陽平

撮影／清水洋策

美術／江崎武志

音楽／サキタハチメ

横田丈実監督作品

火のよう



奈良の村にテントが建つ 映像作家・花岡由紀の撮影セットだ

彼女は、村についてのドキュメンタリーを製作中である。テントの隣にある由紀の実家・正徳寺には、兄である志郎が、若くして妻に先立たれ、ひっそりと暮らしている。撮影が終わって1ヶ月、由紀は夫の待つ東京に帰ろうとせず、兄と二人で過ごしていた。永遠に続きそうな、穏やかな時間……。そんな中、東京から由紀の夫・悟がやって来るのだが……。

ドキュメンタリーとフィクション なんだろう、この豊かな時間は！

由紀が企画した上映会のシーンは、「火のように」の見所の一つ。テント狭しと集まってくるのは、実際に村に住む人々。映像を輝く瞳で見つめ、スクリーンに声援をおくる村人たちの姿は、小川紳介監督の傑作「1000年刻みの日時計」を彷彿とさせる豊穡さ。ドキュメンタリーとフィクションがとけあう、奇跡的な光景である。

関西アートシーンの才能が結集！

音楽は、サキタハヂメ。「はじめにきよし」として、阪本順治監督作品「ぼくたちの音楽を担当したことでも話題を呼んだ彼が、スケールの大きな楽曲を提供。

美術は、江崎武志。当時彼が舞台美術でかかっていた「維新派」は、野外に巨大なステージを建築することで世界的に知られる劇団。そこでの経験は、今回の霊気さへ宿るほどの見事なセットに、いかに発揮された。出演者は、横田作品の常連俳優に加えて、ミュージシャン、「あうん堂」「桃園会」などの小劇場の役者などが参加。宣伝美術に至るまで、ずらりとそろった顔ぶれは、関西名物と言ってもよいユニークな才能ばかりだ！

火のようにあるんや、心のなかに

びあフィルムラエステイブル92で「蝸牛庵の夜」(85分)が入選して以来、奈良の地で映画を撮り続ける横田丈実。スケールの大きな世界観。独自の映画空間は、そのもう一つの顔、「僧侶」ならではのものでもある。火のようにあるんや、心のなかに。

横田監督は、66年奈良県生まれ。龍谷大学在学中より映画製作を始め、92年製作の「蝸牛庵の夜」(85分)が、すくなく時の流れを描写した映像詩として、びあフィルムラエステイブルに入選。以後も奈良に住み、実家である「浄念寺」の仕事をして映画製作を続ける。94年、地元の人々へのインタビューで構成されたドキュメンタリー「極楽寺、燃えた」(VTR)、97年「赤木カルタさんの夢」(VTR)などを発表。99年の「FISH BOX 魚箱」(VTR)は、モノクロの映像美に涙を流した。01年の「なみださ心」(DV)では、死生観を正面にすえ、テーマに仏教的な広がりを感じさせて注目された。そして03年、初の長編にして集大成的作品「火のように」(166分)を完成させた。



キャスト

早川友子

杉山寿弥

亀岡寿行

流死児

坂口修一

松本じろ

奥田昌示

羽島俊洋

内藤和也

空田浩志

安多和久

中谷啓

前畑陽平

監督・脚本／横田丈実

撮影／清水洋策

照明／岸田和也

美術／江崎武志

音楽／サキタハヂメ

録音／大星慶佑

技術／藤沢和貴

スチール／川島大伸

助監督／河野浩二

岡田俊秀

補足撮影／横山健二

題字／松本頌之

宣伝美術／東學(ASUDA)

宣伝協力／河野清啓

制作／辻井一人

製作／ドッグマンプロデュース

5月10日(土)より感動のレイトロードショー!

※5月23日(金)まで

特別鑑賞券1200円 好評発売中! 当日/一般1500円,学生1300円,高・シニア1000円 PM8:40より(1回上映)

初日特別オールナイト実施!!5月10日(土) PM10:45スタート

松本雄吉氏(維新派代表)と横田監督のトークショーと作品上映=料金2400円均一 | 上映作品 『FISH BOX』、『赤木カルタさんの夢』、『火のように』(横田監督作品)、『阿呆船~さかしまの巡礼』(維新派1983年公演の記録/監督・康浩郎)

シネ・ヌーヴォ

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩2分
tel.06-6582-1416
http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/

